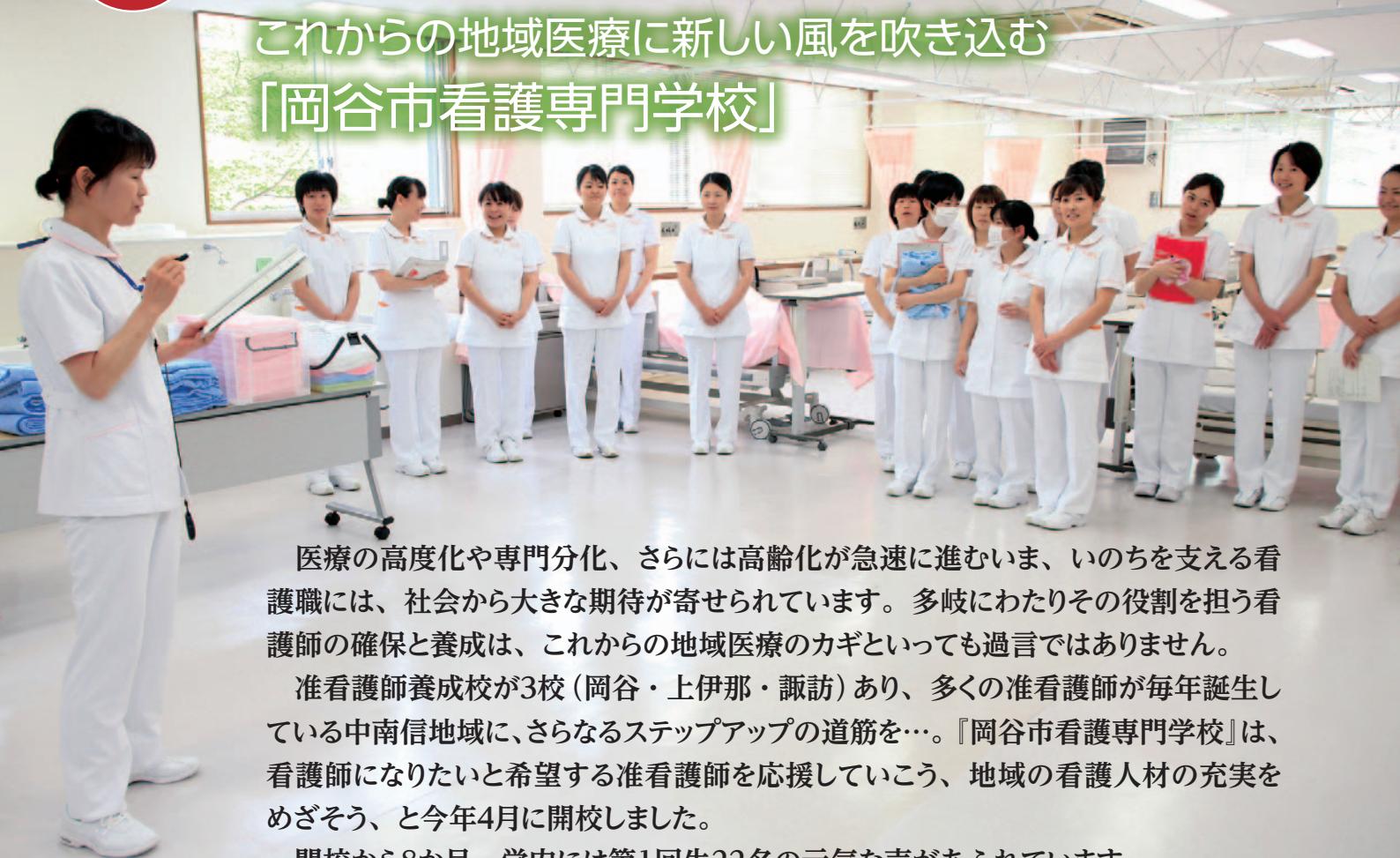


特集

希望の芽よ、大きく育て…

これからの地域医療に新しい風を吹き込む

「岡谷市看護専門学校」



医療の高度化や専門分化、さらには高齢化が急速に進むいま、いのちを支える看護職には、社会から大きな期待が寄せられています。多岐にわたりその役割を担う看護師の確保と養成は、これからの地域医療のカギといつても過言ではありません。

准看護師養成校が3校（岡谷・上伊那・諏訪）あり、多くの准看護師が毎年誕生している中南信地域に、さらなるステップアップの道筋を…。『岡谷市看護専門学校』は、看護師になりたいと希望する准看護師を応援していこう、地域の看護人材の充実をめざそう、と今年4月に開校しました。

開校から8か月、学内には第1回生22名の元気な声があふれています。





塩嶺からは、諏訪湖や八ヶ岳、晴れた日には富士山も望めます。この自然豊かな美しい環境が、学びのステージ



百瀬 芳隆校長



教務主任
井村まゆみさん



副校長
片桐ゆみ子さん

岡谷市看護専門学校は、県内唯一の全日制2年課程の看護師養成校です。さまざまな経験を持つ人が、社会人としての経験を強みに変え看護に活かしていくことを学んでいます。3年制の学校と比べ、経済的な負担などは少なくてすむ分、短期間でライセンス取得をめざす

ので、道のりはかなりハード、知識や技術のみならず、ものの見方や判断力なども、時間との勝負で身につけていきます。

グループワークや行事なども通して、自己表現をする大切さや協調性を培い、看護の担い手として、仲間とともに成長し合っていくことが大切ですね。看護師はやりがいがあり、喜びも大きい仕事ですので、タイトなスケジュールのなかでも、職員はつねにそれを意識し、学生が楽しくのびのびと学べるよう、その環境づくりに努めています。

学校というこの器をどう活用していくか、新たな伝統、岡谷らしさをどうつくりしていくか：積み重ねを大切に、いい流れをつないでいきたいです。

今年の学生は、新設校の1回生。前例なしという壁にぶつかってはいろいろ苦労もしてきて、それぞれに人間としての幅を広げる経験ができたはず。来年、新入生を迎えるなら、いい先輩になってくれると思います。

カリキュラム概要

【1年目】

- 看護の本質や保健医療福祉などについて広く学ぶ
- さまざまな疾病や障害、またそれら疾患に対する看護の知識や技術の習得
- 本格的な現場実習へ向けての準備

【2年目】

- 実習(市立岡谷病院、諏訪湖畔病院、諏訪マタニティークリニック、信濃医療福祉センターなど)を通じ、さまざまな状況下での対応力、看護力をつける
- 看護師国家試験の準備・対策



岡谷市看護専門学校は、こんな学校です！

開校からの歩み

♥スポーツ大会(4月)

岡谷市民総合体育館にて、ふらばーるバレー大会



♥交流会(4月)

「かたくり祭り」開催中の出早公園にて



♥開校式・入学式(4月)

学校としての第一歩を踏み出しました



♥もりのこだま祭(10月)

はじめての学校祭。1学年のみで、学生数も少ないなか、みんなで協力し盛り上げました。学生のアイデアをもとに校章を作成。学校祭のなかで発表も



『校章』

- 岡谷市花であり、学校の周辺にもたくさん植えられている「ツツジ」をモチーフに、学校のイメージカラーであるオレンジを配色
- 下部の青色は、諏訪湖を、ツツジを囲む緑は、自然（樹木や山）をイメージ
- 看護の3要素（知識・技術・態度）にかけて、ツツジと緑のフレームを3つに



学校説明会

♥看護の日(5月)

ナインチングールの誕生日にちなみ「看護、ケア、助け合いの心」を育む看護の日をPR



看護学概論 看護観の発表



ベッドメーキング演習



寝衣交換講義

授業風景



母性看護学概論



生化学講義



人間関係論



洗髪演習



六井 雅子さん（塩尻市から通学）



看護師だったこともあり、心のどこかに、ずっと「わたしも…」という気持ちがありました。回り道にはなりました。が、美容師として人を笑顔にしたことがんばってきたことも、むだではなかつたと思っています。さまざま経験をするなか、たくさんの人に支えられてきて、お世話になつたみなさんに看護師となつてお返しをしていきたい、と気持ちが定まりました。振り返れば、准看をめざして一歩を踏みだしたとき、目標は正看護師になること、と自分に宛ててはがきを書きました。時間もでき、夢に向かつてがんばれる現在のこの環境に、とても感謝しています。

患者さんに寄り添う看護師になれるよう、看護の三要素（知識・技術・態度）を深く学び、国家試験合格に向けて努力します。

六波羅創太さん（伊那市から通学）



東京で調理師をしていましたとき、ヘルパー2級を取りました。祖母が脳梗塞で倒れ、祖父も認知症だったので、家族の役に立てばと考えてのことでしたが、料理人としての未来や都会暮らしに夢が持てなくなつたこともあり、帰郷して看護の仕事にたどりつきました。高齢者と接するのが好きでしたし、向いているなとは思つたのですが、准看では、知識や経験が足りないので、病状の変化に気づけなかつたり、近くにいても、できることが限られて歯がゆい思いもしました。そんな状況のなか、いつしょに働いていた先輩ナースが、正看をめざすよう背中を押してくれました。



白鳥 清子さん（伊那市から通学）



いわゆるふつうの会社員だったのですが、姉の大病をきっかけに、医療の一員として関わりたい、という思いを持ちました。つらいようすを目の当たりにしても無力だった自分が情けなく、また、そのとき姉やわたしを含めた家族を励ましてくださった看護師さんの姿にも、感化されることです。病気をきちんと理解し、適切な処置や思いやりで、病気の人への支えとなる看護師になりたいと思いました。できないことができるようになるまで応援し力づけたり、回復をいつしょに喜び合えるような看護師になるのが目標です。



授業は進みが早いし、通学も楽ではありませんが、「生きているぞ」「がんばっているぞ」と実感する日々。子どもも生まれて、ますます気合いが入っています。

看護の道は、あなたの前に…

岡谷市看護専門学校が、あなたの夢を応援します。

【平成27年度学生募集】

募集受付…12月1日(月)～10日(水)

受験資格…准看護師免許取得者

(中卒の場合は3年以上の看護業務経験が必要)

定員…30名

入学試験日…平成27年1月14日(水)・15日(木)

- **学力試験**：一般教養（現代国語、数学、小論文）と専門科目（人体の仕組みと働き、基礎看護、成人・老年・精神・母子看護）

- **面接**

合格発表…2月3日(火)



問合せ●岡谷市看護専門学校 ☎23-5030